

たかといちどいだよ



令和6年3月 第101号
たかといちどい保育園



野に出れば 人みなやさし 桃の花

— 高野 素十 —

桃の節句に因んだ句と思って詠んでいましたが、作者がドイツに留学しているときの句でした。「人の優しさ」と「桃の花」が何ともしっくりと心に響き、勝手に桃の節句と結びつけてしまったのかもしれませんが。日差しが少しずつ温かくなるころに咲く桃の花、のどかな感じにぴったりの花というイメージです。

3月3日は桃の節句。5節句の意味からすると、「上巳の節句」です。3月は桃の花が咲くころであったことが理由ですが、桃は縁起のいい木とされていたことも理由の一つではないでしょうか。保育園でも、3月1日にひなまつりの会を行います。もうご覧いただいていると思いますが、2階には7段飾りを飾っています。

ところで、男雛と女雛の位置（右、左）を意識されたことはありますか。よく見かけるのは、雛壇は左側が男雛で右側に女雛を配置しています。保育園でも、左にお内裏様、右にお雛様です。ところが京都では逆の位置に飾ります。北に向かって、左が右京区で、右が左京区であることと関係がありそうです。

さて、保育園でも、3月はそんなひなまつり会から始まります。今月もたくさんの「楽しい」をみんなが感じ取れる月にしていきたいと思います。

そして、3月19日には、保育園で一番大事な行事である「卒園式」を予定しています。卒園式はゆめ組さんだけの行事ではなく保育園全体の行事と考えています。保育園でたくさんの友だちやたくさんの職員と共に過ごし、共に成長してきた子どもたちです。この日、保育園でたくさんのことを学び成長した子どもたちの姿をおうちの方々に見ていただきます。そして、保護者の皆さまと共にその成長を喜び合える日にしたいと思います。

最後のひと月となるこの3月。期待と不安。子どもたちはどちらが大きいのでしょうか。皆様はいかがでしょうか。保護者の皆様の思いがそのまま子どもたちに伝わっていくこともあります。期待を膨らますことができるように、わたしたち大人がどう接するかを考えていかなければならないと思っています。

1か月後には、一つずつ進級する子どもたち。新しい出会いが待っています。この一年の思い出を胸に刻み、新たな思いを胸に気持ちの良いスタートが切れる準備をしっかりとできる月でありますように。

上野 理生



3月の予定



ひなまつり会	1日（金）		
誕生会	6日（水）	お別れ遠足	8日（金）
卒園式	19日（火）	発育測定	13日（水）～15日（金）
お別れ会	22日（金）	体育あそび	7日（木）・21日（木）
※避難訓練・救急訓練は日時不明の設定で行います。			



あつあつ



子どもたちは、ままごと遊びに夢中で。たくさんの野菜や果物を切ったり、お皿に入れて食べる真似をしたりして楽しんでいます。「おいしい？」と聞くと、スプーンで掬って「あ〜ん」と一口を保育士に食べさせようとすることもありました。「どうぞ」と言って友だちと関わって遊ぶ姿も増えてきました。また、エプロンや三角巾を身に付けて大人になった気分を楽しんでいます。今後も子どもたち同士の関わりを温かく見守り、一緒に遊ぶ楽しさを伝えていきたいと思います。

今月は、ひかり組の保育室で過ごす時間を少しずつ増やし、新しい保育室でも楽しく過ごせるようにしていきます。必要に応じた援助を行い子どもたちの姿を大切に见守っていききたいと思います。

今月のねらい：ひかり組保育室で過ごすことに慣れる



ままごと
だいすき〜

おいしい
ごはん
どうぞ〜



ひかりぐみ



食べることが大好きな子どもたちは毎日の給食の時間を楽しみにしています。メニューを伝えると「おにくだ！やったあ！」「おててをあらおう」と話しています。また、友だちが食べている姿を見て、真似して苦手なものも食べようしたり、目を合わせて笑い合ったりして、楽しい雰囲気の中で食べています。今後も一人ひとりの気持ちに寄り添いながら、様々な食材に誘いかけ、意欲的に食べられるようにしていきます。

残り1か月となったひかりぐみ。にじぐみの部屋へ遊びに行くと、おもちゃを次々と手に取り、嬉しそうな表情を浮かべています。進級に向けて、にじぐみの部屋で遊ぶ時間を増やし、大きくなることの喜びを感じながら、環境にも慣れていけるようにしたいと思います。



おいしい！



あーん



今月のねらい：進級への喜びを感じ、新しい環境に慣れる



にじぐみ



にじ組で過ごすのも残すところあと1か月となりました。春は一人で遊ぶことが多い子どもでしたが、今は友だち同士で遊びを見つけて楽しめるようになっていきます。一緒に作る、一緒に手を繋いで遊ぶ、一緒に言葉の響きを楽しむなど様々な顔を見せてくれます。幼児クラスの部屋の玩具で遊び、初めて見る玩具に目移りしていました。お兄ちゃんお姉ちゃんの遊びを真似たり、玩具を貸してもらったりして幼児クラスへ一歩一歩近づいていっています。

今月は少しずつ制服や体操服の着脱や幼児クラスのトイレに慣れていこうと思います。



たのしいね



いっしょに
ゲームしよう

今月のねらい：進級を喜び、幼児クラスの部屋に慣れる



ほしぐみ



先月は、屋上園庭や保育室でのびのびと体を動かしました。子どもたちは元気いっぱい走って遊ぶことが大好きで、毎日「きょう、おくじょうにいく？」と聞く姿が見られます。コーン倒しやリレー等の簡単なルールのある遊びを取り入れると、どうやったら勝てるかを考えたり、友だちを応援したりと協力し合う姿がたくさんありました。今後もルールと一緒に考える時間を設けたり、決まりを守る大切さを丁寧に知らせたりして、友だちと関わって楽しく遊べる環境を作っていきます。

今月は、1年間を振り返り、楽しかったことや嬉しかったことをみんなで共有する機会をつくりま。また、進級に向けての話をし、1年の締めくくりができるようにしていきます。



からだ
うごかすの
たのしい～



今月のねらい：友だちと関わって様々な遊びを楽しむ



みんぎ



先月は、片付けを始める時間を指差しやマークを使って分かりやすいように伝えました。そうすると、「もうかたづけのじかんだ」と自分で時計を確認する姿が見られました。見通しがもてるよう、視覚的な援助も交え、みんなが時間を意識しながら片付けができるように配慮していきます。

今月は暖かくなってきたので、たくさん散歩に出掛けて思い切り走って、のびのびと体を動かす気持ち良さが味わえるようにしていきます。

きれいにね



かたづける
じかんだ



今月のねらい：のびのびと体を動かすことを楽しむ



ゆめぐみ



年明けからまだまだ継続中のコマ回しのブーム。自分で回せる友だちを見て「ぼくも」「わたしも」と加速度的に遊びが広がりました。保育士も一緒になって遊ぶ中で、回し方を教えたり回せたことの喜びに共感したりして楽しみました。友だちにコツを教えたり、誰が一番長く回せるかを競ったりと、子どもたち同士でも楽しんでいます。保育士の技を見て真似し、手のひらの上で回せる子どもも増えてきています。今後もブームは続きそうです。

今月は進学へ向け、再度日々の生活習慣や身の回りの整理整頓を意識できるようにします。子どもと一緒に確認し合ったり、取り組んでいる姿を認めたりしていきます。

のった！

せーので
まわそう



どっちが
ながく
まわるかな



今月のねらい：良い生活習慣を身に付け、身の回りの整理整頓を意識して過ごす



4月に保育園に入園し11か月がたちました。入園当初は、たくさん泣いていた子どもたち。今ではあさひ組のお部屋を目指して笑顔で登園するようになりました。保育園で様々な経験を重ね、いろいろなことができるようになった子どもたちの姿をご紹介します。

保育園では、手を洗ったり服を着替えたりと簡単な身の回りのことを保育士と一緒にしています。繰り返し丁寧にやり方を伝えていく中で、今では自分で何でもやってみようとするようになっています。保育士が手伝おうとすると『自分です』と、最後まで自分でしようとしています。子どもたちの気持ちに寄り添い、意欲を大切にしながら関わっていきます。



入園当初は、ハイハイやよちよち歩きだった子どもたち。今では走ったり友だちと手を繋いで歩いたりしています。また高い所に登るようにもなりました。一度自分でできるようになるとその感覚を覚えて何度も繰り返し遊んでいます。のぼる、おりる、くぐる、つかまる、走る、投げるなど様々な運動を経験することで全身を使った運動が活発になり、できることがたくさん増えました。

やってみたい！ できた。嬉しい！ など様々な気持ちを大切に日々関わることで、たくさんのことができるようになりました。保育園大好き！ お友だち大好き！ 先生大好き！ そんな子どもたちを見て私たちもとても嬉しい気持ちいっぱい。



《私の休日の癒し》



私の今の癒しは岩盤浴です。ちまたではサウナの特集がよく組まれていますが、私は、熱さを我慢するサウナは苦手です（サウナ最高一と思われている方すみません）。岩盤浴も熱いのは同じじゃないと思われませんが根本的に違います。サウナは高温の部屋に入って、基本座り、発汗させます。汗腺から老廃物が出るのでドロドロ汗です。岩盤浴は専用着を着て低温で温められた岩盤や鉱石が敷き詰められた上にタオルを敷き寝転んで、遠赤外線効果で汗が出ます。皮脂腺から発汗するためサラサラした汗が出ます。サウナは我慢比べのようで、先に入っていた人よりは長く入っていなければと必死に耐えます。その点岩盤浴ではほぼ皆さん目をつぶり、寝転んでいるので周りを気にせずリラックスできます。岩盤浴も何種類もあり、温度が違ったり、石の種類が違ったりと自分の好みの温度や石を探すのも楽しみになります。温泉に入って岩盤浴、また温泉、岩盤浴を繰り返し、その間にフェイシャルエステやヘッドスパ、マッサージなどの予約を入れ、食事もして一日過ごします。最近の温泉施設は休憩室も充実しており、時間を忘れてのんびり過ごせます。雑誌を読んだり、イヤホンで音楽を聴きながら昼寝することもあり、このひとときが最高です。まだまだ行っていない施設がたくさんあるので、足を伸ばして新しい癒し場所を探索しようと思います。

子育てで真っ最中の保護者の皆さんには一日は難しいでしょうが、岩盤浴だけでも経験してみられてはいかがでしょうか？（岩盤浴は中学生から入れます）

坂田 美奈